

# 第四十五号 (10月号)

シルバーウィークも終わり、しばらくは秋の深まりを感じながら、おだやかに過ごせる季節ですね。またスポーツをするにも絶好の季節です。ウィークデーは仕事に集中し、休日は皆さんそれぞれのストレス解消法で気分転換しつつ、秋を満喫しましょう♪

全国労働衛生週間 (10月1日~7日)

## 職場発！ 心と体の健康チェック はじまる 広がる 健康職場



全国労働衛生週間は、働く人の健康の確保・増進を図り、快適に働くことができる職場づくりに取り組み週間で。

昭和二十五年に第一回が実施されて以来、本年度第六十六回を迎えます。この機会に自主的な労働衛生管理活動の大切さを見直し、積極的に健康づくりに取り組んでみましょう。

★月間重点目標  
「なにか違う」「なにかおかしい」「細かな事でも再確認」  
(石崎部長)

体育の日 (十月第二月曜日)  
「スポーツに楽ししみ、健康な心身をつちかう」  
一九六六年、東京オリンピックの開会式が行われた、十月十日を記念して祝日に制定されました。  
二〇〇〇年からはハッピーマンデー制度により現在のようになりました。

～ 今月の予定 ～

八日(木)	(本社)	総務会議
十日(水)	(本社)	営業・製造会議
十四日(水)	(岡山)	製造会議
十五日(木)	(本社)	品質会議
二十一日		『大阪勧業展』 出展
二十二日	(岡山)	技術交流会
二十三日		濱渦係長、他一名

## — 今月の TOPIC — 「ハザードマップ」

「ハザードマップ」をご覧になったことはありますか？

「ハザードマップ」とは、自然災害による被害を予測し、災害の発生地点、被害の拡大範囲および被害程度、さらには避難経路、避難場所などの情報が既存の地図上に図示されたものです。「ハザードマップ」を利用することにより、災害発生時に住民などは迅速・的確に避難を行うことができ、また二次災害発生予想箇所を避けることができるため、災害による被害の低減にあたり非常に有効である、とされています。

しかし、先日起きた東日本の豪雨災害で被害の大きかった常総市でも河川の氾濫による浸水想定を示した「ハザードマップ」が作られていましたが、十分に活用されませんでした。「ハザードマップ」は市内の全戸に配布されていたそうですが、実際危機感を持って、それをちゃんと見ていた人は少なかったようです。情報の出し手である自治体でさえ、マップで浸水が予想されているにもかかわらず、市役所に災害対策本部を設置し、結局マップ通りに浸水してしまい、機能不全となりました。今後は、自治体に防災専門知識を持つ職員を増やし、職員が地域防災の核になり、マップの読み方などを住民に分かりやすく伝えられる体制づくりが必要である、と専門家は指摘しています。

### 避難生活で意外と役に立ったもの

- ウェットティッシュ、赤ちゃんのお尻拭き
- アルミホイル、サララップ (食器を汚さない)
- アイマスク、耳栓 (イヤホン)
- 小銭 (お店に釣銭が無くなる)
- 新聞紙
- 常備薬
- カイロ
- マスク
- 女性) 髪ゴム
- 生理用品
- カップ付タンクトップ
- 大判ストール
- 子ども) お菓子
- 救急セット
- トランプなどのかさばらないおもちゃ

最近、日本各地ではさまざまな自然災害が起っています。「ハザードマップ」は水害の他に地震・津波・土砂災害・火山など、地域によって想定されるさまざまな災害について、作られています。国土交通省の「ハザードマップポータルサイト」では全国の地方公共団体のハザードマップを検索、閲覧することができます。また、それぞれの自治体のホームページからも見る事が出来ます。災害はいつ起こるかわかりません。その時に冷静で迅速な行動がとれるよう、一度皆さんもお住まいの地域のハザードマップに目を通し、自分の住んでいる場所の危険性を知り、家庭内で避難経路や避難場所、連絡方法などを話し合っておいてはいかがでしょうか。

※中の物が濡れないように非常用リュックは中にビニール袋を重ねるか、中身をまるごと大きなビニール袋に入れる。

※リュックなどに蛍光グッズ(キーホルダー等)を付けておくと、夜道を逃げる時に目立つので危険を回避できる。

※乾電池は全ての種類を揃えておくのは大変なので、まとめ売りで安く買える単三電池を多めに用意し、単一や単二に変換出来るスパーサーを用意しておくこと便利。また避難所では単四が余っていたという話もあるので、単四を単三に変換するスパーサーもあればなお良い。(百均等でも購入できる)